

ツキノワグマのエサ資源の事前予測について

例年、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を予測することにより、ツキノワグマの出没傾向を予想している。エサ資源の事前予測については、ブナ科植物の雄花の落下数から推定している。

1 調査内容

(1) 調査地点

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された8市町内の地点

〔加賀市・小松市・能美市・白山市・金沢市・津幡町・中能登町・宝達志水町〕

(2) 調査期間

5月～6月

(3) 調査方法

1調査地点につき5箇所、1㎡あたりのブナ、ミズナラ、コナラの雄花の落下数を調査し、調査地点全体の平均値によりエサ資源を事前予測。

(単位：個/㎡)

樹種	大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	<30	30 ≤ <200	200 ≤ <900	900 ≤ <1,700	1,700 ≤
ミズナラ	<50	50 ≤ <200	200 ≤ <300	300 ≤ <500	500 ≤
コナラ	<50	50 ≤ <200	200 ≤ <1,000	1,000 ≤ <1,900	1,900 ≤

※石川県林業試験場の研究結果による判定基準

2 調査結果

樹種	調査地点	事前予測	雄花落下数平均値	(参考)			
				H30		H29	
ブナ	25地点	凶作	87	並作	415	凶作	124
ミズナラ	23地点	豊作	361	大豊作	601	豊作	454
コナラ	26地点	並作	740	並作	922	並作	806

3 着果状況による豊凶予測と令和元年の雄花調査による豊凶予測

区分	各年度の着果状況による豊凶予測											R1 雄花調査による 事前予測	凡例
	H16	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30		
ブナ	×	◎	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	◎	▲	大豊作 ◎◎
ミズナラ	×	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	豊作 ◎
コナラ	×	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	並作 ○
目撃件数	※1006 (89)	58 (30)	353 (51)	60 (34)	126 (56)	147 (106)	256 (99)	195 (93)	246 (150)	200 (124)	178 (120)	— (170)	凶作 ▲
													大凶作 ×

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※()内は7月18日時点の目撃件数